静商同窓会報

発行人
静岡市葵区田町7丁目90番地
TEL (054) 221-7030
静商同窓会

編集
静商同窓会
広報委員会

題字 赤石文男氏

第30号

平成29年度 定時総会

第76回卒が担当

723名が懇親会に参加

平成二十九年度静商同窓会定時総会は六月十七日(土)ホテルセンチュリー静岡にて開催された。

定時総会には、約四百名が出席。物故者への黙祷の後、赤石会長の挨拶、今年赴任した眞木万平静商校長の挨拶に続いて議事に入った。平成二十八年度の同窓会各委員会、教育振興基金管理運営委員会、硬式野球部後援会の事業報告、決算報告が行われ、二十八年度の事業計画案子算案と教育振興基金管理運営委員会が教育振興委員会に名称が変更になったため、会則の改正案の審議がされ、各案が異議なく承認された。

また、本年度は、役員改選の年度となり、新役員の改選案も審議され全会一致で承認された。

議事終了後、会費納入額が目標に達した回卒に感謝状が贈られた。

総会後、清水区出身の日本サッカー協会参与綾部美知枝氏による「出会い～人・まち・交流～」と題した記念講演が開催され、約四〇〇人の聴衆がサッカーを通して人を育て、人と人との交流によってまちづくりをしていく楽しさや魅力を語りかける氏の力強い言葉に引き込まれていった。

懇親会は、お互いの元気を確かめ合うように肩をたたき、楽しげに語り合う光景が、例年以上に見受けられた。

当番幹事の企画による抽選会が行われ、約五〇本の当たり券が用意された。当選された参加者に記念品が贈られ、会場には喜びの声が沸き起こっていた。

肩を組み、校歌を歌い、大ウエーブが起き、大盛況のうちに定刻となりお開きとなった。

新役員紹介

目標額を達成した回卒に感謝状が贈られた

赤石同窓会長挨拶

眞木母校校長挨拶

第54回卒　大石氏の乾杯

司会は静岡第一テレビの
徳増ないるアナウンサー

新卒者紹介

次は我々の番だ！

来年は、第77回生（昭和51年卒）が担当
愛称を「七夕会」と命名

昭和五十一年三月卒第77回卒生が平成三十年度同窓会の幹事を担当させていただきます。

今年第76回卒から引き継ぎをしていただきましたところ、思っていた以上にやることの多さに驚くと共に諸先輩の並々ならぬ努力に感銘いたしました。

平成29年度静商同窓会定時総会・講演会・懇親会に参加してくださり、皆様誠にありがとうございました。皆様のおかげを持ちまして無事大役を終えることができました。

記念講演には、日本サッカー協会参与の綾部美知枝氏をお迎えし「出会い～人・まち・交流～」をテーマに今後のまちづくりについてのお話を聞かせて頂きました。懇親会の司会は静岡第一テレビの徳増ないるアナウンサーにお願いしました。お二人とも懇親会の席に着いてくださり、抽選会のお手伝いや皆様との歓談、写真撮影にも快く応じてくださいました。また、応援団のパフォーマンスによる会場の盛り上がりや、応援歌・校歌斉唱時の一体感、静商パワーにはたいへん感心されておりました。

参加された方からは、懇親会の時間の流れや配分が良かったとのご意見もありがたかったところでありました。

来年度は77回の皆様が担当する番です。120周年の記念イベントもありますが、77回卒生は団結力の強い回ですので自信を持って頑張って下さい。

実行委員長
古本充彦

静商創立120周年記念 同窓会定時総会

—静商創立120周年—
SEISHO 120th Anniversary
歴史と文化の足音

平成30年6月2日(土)
ホテルセンチュリー静岡

記念講演　舞の海秀平氏（予定）

ありがとうございました

当番幹事を終えて　第76回生（昭和50年卒）

我々77回卒の愛称を77回卒にちなみ「七夕会」と命名いたしました。

静商創立120周年の記念すべき年に幹事を担当させていただき身が引き締まる思いです。この栄えある記念総会に向け、一同力を合わせ「おもてなし」の心を引き継ぎ準備していきます。

ぜひとも多くの参加者を募っていただき記念すべき定時総会が成功できますようにご協力をお願いいたします。

◎定時総会
日時　平成30年6月2日(土)
場所　ホテルセンチュリー静岡
講師　舞の海秀平氏(予定)
元小結
◎実行委員長　関原秀夫
代表　川澄真一郎
事務局　杉山仁志

第12回静商成人の集い

平成二十九年一月九日に静商116回卒業生「成人の集い」を開催いたしました。

二年前まで高校生であった私たちも晴れて成人の日を迎え、大人としての自覚を改めて感じる意義のある一日となりました。企画した私たちとしましては、周りへの感謝はもちろん、自分への感謝と今後の自分自身を励ます意味で、高校時代を共に過ごした仲間たちと歓談していただければと思っておりました。その願い通り、とても楽しい時間を過ごしていただけたと実感しております。支援をしてくださった同窓会本部の皆様に心よりお礼申し上げます。また、今後ともご支援よろしくお願いいたします。

幹事　第116回卒　佐野藍瑠

若者よ静岡へUターン！

大学・専門学校など進学で首都圏へ行って就職活動をする時、静岡にも魅力的な企業が沢山あります。
「静岡で就職を」ぜひご検討ください。
・静岡商工会議所・静岡市経済局商工部
・静岡県就業支援局・静商同窓会組織委員会

第14回同窓会 ゴルフ大会

優勝は、山本均氏、女性は増井美恵子氏

第十四回ゴルフ大会が、十月十八日リバー富士カントリークラブで開催された。

秋雨・秋空高くまことにさわやかな季節の予定が、連続五日間の雨、明日の天気が危ぶまれたが、当日はなんという快晴。日ごろの行いの良さを感じます。

女性で優勝の第80回卒増井美恵子氏

優勝の第71回卒山本均氏(左)と赤石同窓会長(右)

今回も五十一回生から九十回生までの一〇六名の精鋭が、リバー富士カントリーコースに集結し、腕前を競い合いました。

十七名。63回生は、一〇名。72回生はオール硬式野球部の一〇名。各組とも懐かしい仲間との楽しい時間です。一名での参加も上手に組み入れられてストレスはありません。ミスショットを除けばとても楽しいゴルフです。一名でもぜひご参加を。

優勝は、第71回卒山本均氏。準優勝は、第79回卒大塚雅夫氏。第3位は、第58回卒柏原英二氏。柏原氏は、79歳とは思えない活躍でした。

女性の一位は、第80回卒増井美恵子さん。第二位は、第90回卒橋口真規子さん。おめでとうございます。賞品も盛りだくさんで、会費以上の賞品がいただけるとあって笑顔があふれていました。これも多くの賞品を寄贈してくださる方々のお陰です。ありがとうございます。

会費のうち五〇〇円は、例年通り静岡新聞～愛の都市訪問～に寄贈致します。（宮）

寄贈者ご芳名

第65回卒赤石同窓会長・第69回卒伊藤副会長・第63回卒大塩正一様・第61回卒河口前総務委員長・第77回卒川澄真一郎様・第75回卒高山房之様（関東支部）・第73回卒吉田順子様・第76回卒中山副幹事長・第77回卒関原副会長・第83回卒両角昇吾様・第62回卒岡本政俊様・第71回卒古牧組織委員長・第83回卒山本幹事長・第79回卒八木章夫様・リバー富士CC様（順不同）

34年ぶりの快挙！ 地区大会ベスト4に

男子バスケットボール部に 部旗を寄贈

贈呈された部旗。現役部員と山本玲司氏(右隅)

平成二十九年四月二十日に男子バスケットボール部OB会の第76回山本玲司氏(昭50年卒)が母校の体育館を訪問され、現役部員に部旗を寄贈していただいた。

昭和四〇～五〇年代には県の上位常連であったが、近年は県大会出場からも遠のいていた。平成二十七年度から平成二十八年度の顧問の赴任により、部員の意識にも変化が現れ、徐々に力を付け始めた。試合会場に脚を運んだOBが部旗無いことに気付き、古豪復活の願いを込めて、当時と同じデザインで作製、寄贈をしていただくことになった。

現役の海野主将はいうこともあり、先輩方から大きな力をもらいました。八十九年間の伝統を引き継ぎ、少しでも先輩方の実績に近づけるように頑張っていきます。」と意気込みを語った。

四月二十九日開幕の総体中部地区予選ではノーシードから、第四・第五シードを破り、総体地区予選としては昭和五十八年以来の三十四年ぶりにベスト4入賞。十五年ぶりの県大会出場を果たした。三十四年ぶりの県総体の1勝を掛けた試合では1ゴール差での敗退となり、悲願の1勝は来年への持ち越しとなった。新チームでさらなる活躍ができるように日々の練習に励んでいきたい。

（顧問　増田哲也）

静商美術同好会 第6作品展を開催

新メンバー加わり作品多彩に

OBの説明を聞く先生と生徒達

静商美術部の卒業生を中心に静商卒業生で美術関連に趣味をお持ちの方の作品を一堂に展示して、第六回「静商美術同好会」作品展を今年も六月二十日から二十五日までの六日間、静岡市民ギャラリーにて開催した。今回も絵画を中心に版画、陶芸、手作り人形、能面、写真、刺繍、切り絵等多彩。新メンバーも加わり出展者二十名、出品点数六十点の作品を展示しました。会場は初日から卒業生をはじめ、関係者やたくさんの美術愛好家、在校生等期間中約四五〇名余の来場者で賑わいました。この作品展は、静商の卒業生であればどなたでも結構です。内容は問いませんので、ぜひご参加いただきたくお願いします。

さらに今後より多くの皆様のご協力をいただき、盛大に開催していきたいと思います。皆様のご連絡をお待ちしております。

◎問い合わせ先
静商美術同好会事務局
築地維太郎（第64回・昭38年三月卒）
☎090-7686-0051

第三回ウォーキング学習会

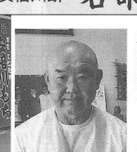
丸子路を歩く・・・・・

昼食は「名物とろろ汁の待月楼」で

平成二十八年十一月二十七日（日）同窓会組織委員会企画・主催のウォーキング学習会に参加しました。未明からの雨は上がったものの曇天で心配されたが、どうにかたいしたこともなく、楽しい一日となった。

老若男女約一〇〇人がスタート地点の宇津ノ谷峠の道の駅に集合、四班に分かれて出発。昔、東海道の街並み、明治時代に造られたトンネル等々歴史を満喫しながら歩くこと約一時間、第79回卒の八木章夫氏が営む「待月楼」に到着。待ちに待った昼食である。「名物とろろ汁」で満腹になったところで目的地に向けて出発。予定より少しおくれ、三時過ぎに解散となった。約十キロの秋の丸子路を無事完歩し、さわやかな一日であった。（江）

元祖安倍川餅 石部屋を訪ねて


ご主人の長田満氏
(第71回卒)

静商から歩いて五分、バス停安倍川橋近くの、安倍川餅の老舗「石部屋」がある。

ご主人の長田満氏は静商第71回卒の卒業生。見かけはちょっと怖い、が、話せば大変優しくて、静岡弁が素晴らしい気さくなおじさんである。

石部屋は文化元年（一八〇四年）、今から二一〇年以上前の創業です。明治二十二年東海道線の開通と同時に訪れる人も少なくなり、当時八軒あったお店は、現在は石部屋を残すだけとなった。まさに〈元祖安倍川餅　石部屋〉由緒ある老舗である。

暫く古き良き時代の静商談議で盛り上がった後、ご主人自ら作って頂いた安倍川餅を賞味した。なんと、40数年前学生時代に食べた、あのとっても柔らかくて、少し温かい美味しかった味まったく同じである。筆者は藤枝であるので、乗るバスは、石部屋の前である。その頃の思い出が蘇ってくる。甘酸っぱい初恋の思い出は色あせてしまったが、この安倍川もちの味は色あせてはいない。素晴らしい安倍川餅の味を引き継いでいるものである。さすが老舗、さすが静商OBと感銘した。

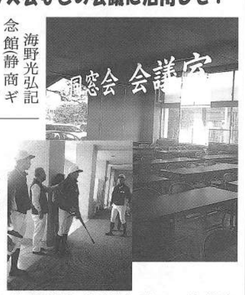
帰るとき、ご夫妻でお店に入ってきた方に、「どちらからおいでになりましたか？」とお聞きしたら、東京からとのこと。全国的にもその名が轟いている石部屋さんである。

皆様もご主人との静商談議と安倍川餅をぜひご賞味あれ！（垣）

元祖安倍川餅　石部屋
・長田満氏
（第71回・昭45年3月卒）
静岡市葵区弥勒2丁目5の24
電話　054-252-5698

同窓会会議室を母校に設置

同期会やクラス会などの会議に活用して！



軟式野球部の生徒達も手伝ってくれ綺麗に整備ました。

海野光弘記念館静商ギャラリー西隣りの共通履修室を同窓会会議室としてお貸しいただきました。

ので、三月十六日（木）午後一時より軟式野球部生徒二十名と一部同窓会役員方のボランティア活動によって会議室として整備され、新たに同窓会会議室として使用できるようになりました。

静商の関係者なら（同窓会・OB会・教員・生徒・PTA・父母の会等）どなたでもご利用できますので、同期会やクラス会、OB会などの会議室として、大いに活用してください。定員は、最大で60名です。無料でご利用できます。

また、開設に当たり赤石会長より、空調機2台・電気工事一机（借用）・椅子（借用）。伊藤幹事長より、スチール書棚2台・シューズBOX・傘立て、第71回卒小林三男氏よりカーテン一式をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

申し込み方法

①平日の10時～15時までに同窓会事務局まで。
電話　054-221-7030
②利用日・利用時間は、8時～21時、土・日・祭日もOK（但し、学校の都合により使用出来ない日が有ります。）
③場所は海野光弘記念館（静商ギャラリー）西隣り（安倍川寄りIF）
④タバコ、飲酒は禁止です。